



7月の園だより

令和8年6月25日

杉並区立成田西子供園

園長 齋藤 由美

『子供園の特別支援教育』

副園長 小森 三奈子

プール開きをしたかと思ったら、台風が来て不安定な天気が続いていますが、子どもたちは雨がやむと戸外に出て、色水遊びや砂遊び等、色の変化の面白さや美しさ、感触の気持ちよさや不思議さ等を感じながら、この時期ならではの遊びを楽しんでいます。

ところで、皆さんは特別支援教育と聞くとどのようなことを思い浮かべますか？「うちの子は関係ない」と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、子供園の特別支援教育は、個々の発達に関する特別な支援だけでなく、子供園に通う誰もが安心して生活できる環境づくりと援助を意味します。

子どもたちは、一人ひとり好きな遊びが違うように、苦手なことや困り感（幼児が困っていること）もそれぞれ違います。視覚的に表示で説明を見た方が理解しやすい子もいれば、言葉で説明された方が分かる子もいます。また、全体の流れが分かり見通しをもてるようにすることで安心する子もいれば、今すべきことだけが目の前にあることで集中できる子もいます。

そこで、子供園では個々に違いがあることに配慮した上で、どの幼児も学級の中で安心して遊びや生活を進めることができるように、学級みんなが分かりやすい対応や環境を用意していくことを心掛けています。

例えば、片付けの場面において、「どこに片付けたらよいか分からない」「見通しがもてないと不安」等の困り感をもたず、学級みんなが分かりやすい対応や環境として次のように配慮しています。

【片付け方が分かって自分で動ける】ように種類ごとの表示や片付ける場、高さ等を分かりやすく線で示しています。この表示があることで、自分で使った椅子や積み木などを片付ける時に、どのようにしたらよいか分かり、主体的に動く姿につながります。

また、幼児は楽しい遊びほど、「もっとやりたかった。」と思うものです。【遊びに区切りをつけ、自分で気持ちを切り替えて片付けることができる】ように、発達に応じて絵表示で1日の生活の流れを知らせています。そして、次の活動が始まる（片付け始める）時間が近くなったら、片付け始めるタイミングを幼児と相談して決めることで、子ども自身が満足できたところで遊びを終わりにすることができるようにしています。「あと3回やったら終わりにしよう。」「あと1個つくったら片付ける。」等、幼児が自分で決めることで、楽しかったという思いをもち、片付けに気持ちが向きます。その際に、保育者が「これが終わったらみんなで〇〇しよう！」と次にすることを知らせることで、期待感をもって意欲的に片付けています。

【自分で見通しをもって動ける】ように、次の活動の始まりの目安となる時間の時計を表示したり、文字盤の数字に色を付けておいたりして知らせることも有効です。

このように、幼児の一人ひとりの困り感を理解した上で、どの子も分かって安心して動けるようにするために子供園では、特別支援教育コーディネーター（副園長：小森、主任教諭：日下部）を中心に、園内の環境や援助について話し合ったり、外部講師を招いて園内研修や巡回相談を実施して学んだりしています。

子育てのことで悩みがありましたら、ぜひお気軽にお声掛けください。

★ 子どもたちの様子と今月のねらい・おすすめ絵本 ★

3 歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

登園してくると好きな遊びを見つけて、製作コーナーの素材や道具を使って、思い思いの物をつくって遊ぶ姿が増えてきています。また、つくったものを使ってイルカやペンギンになりきる幼児もいます。また、ウレタン積み木や衝立を使って場ができることを喜んだり、作った場にものをたくさん持ち込んでままごとをしたりして遊びを楽しむ姿も出てきました。

6月下旬からは水遊びが始まりました。水の感触に触れ、気持ちよさが感じられるようにしていきます。また、着替えでは、一つひとつ手順を伝えながら、「自分でしてみよう」とする気持ちになるように支えていきます。

✿今月のねらい✿

○水遊びやプール遊びで、水の感触を楽しんだり、開放感を味わったりする。

○自分のやりたいことを見つけて遊んだり、同じ場にいる幼児と一緒に過ごしたりすることを楽しむ。

○着替えの仕方が分かり、自分で行おうとする。

◆おすすめ絵本◆

『ありとすいか』 たむらしげる：作・絵 / ポプラ社

『うみへいく ピン・ボン・バス』 竹下 文子：作 鈴木まもる：絵 / 偕成社

4 歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

中型積み木、巧技台、ゲームボックスなどを使って自分たちの遊びの場をつくることを楽しむようになってきました。自分なりに思いやイメージをもって遊ぶことも増えてきており、同じ場にいる友達に、動きや言葉で伝えようとする姿も見られるようになりました。また、乗り物やお菓子、身に付けるものなど自分なりに「こんな風にしたい」と思いを形にしようとする姿も見られます。

先日、始まった水遊びやプール活動に加え、フィンガーペインティング等も楽しみながら、夏ならではの遊びをたくさん経験し、水の冷たさや気持ちよさを感じると共に、開放感を存分に味わえるようにしていきます。

✿今月のねらい✿

○友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを動きや言葉にする楽しさを味わう。

○水の感触を楽しみながら、様々な遊びや動きをすることで、開放感を味わう。

○暑い日の生活の仕方や水着の支度・始末の仕方が分かり、自分から行おうとする。

◆おすすめ絵本◆

『10ぴきのかえるのプールびらき』 間所ひさこ：作 仲川道子：絵 / PHP 研究所

『カマキリくん』 タダサトシ：作 / こぐま社

5 歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

大切に育ててきたアゲハチョウの幼虫が無事にチョウになりました。蛹になるまでの日数を数えてみたり、蛹や成虫に変化する瞬間の動画を見たりしながら、「〇〇じゃないかな?」「クネクネしてるよ!」と見て感じたことや考えてことを言葉にする姿が見られるようになりました。

遠足の再現遊びをきっかけに、何日も遊びを続けていくことが楽しくなってきました。「今日も続きしようよ!」「じゃあ〇〇をつくることにしよう!」と互いに誘ったり、もっと楽しくなるための方法を提案したりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいきます。

6月中旬には、いるか組がプール掃除をして、いよいよプール遊びが始まります。水の心地良さや開放感がたっぷり味わえるようにしていきます。

✿今月のねらい✿

○プール遊びを通して、開放感や水の中で体を動かして遊ぶ充実感を味わう。

○自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりして、友達とのつながりを感じながら遊ぶ。

○夏野菜の収穫の喜びを感じ、食材に興味をもって食べてみようとする。

◆おすすめ絵本◆

『カブトくん』 タダサトシ：作 / こぐま社

『わんぱくだんのかいていたんけん』 上野与志：作 末崎茂樹：絵 / ひさかたチャイルド